

■ 献血の種類

献血の採血方法には、すべての血液の成分を採血する全血献血と、必要な血液の成分だけを採血する成分献血があります。全血献血は、1回の献血での採血量で、400ml献血と200ml献血に分けることができます。

また、成分献血は採血する成分の種類で、血漿成分献血と血小板成分献血に分けることができます。それぞれの献血からつくられる血液製剤は異なり、その種類は図の通りです。これら血液製剤は自国での自給

自足が望ましいとされています。しかし、血漿成分製剤の一つであるアルブミン製剤は自給率が約59%（平成21年度）であるなど、海外に依存している製剤もあるため、みなさんの協力を必要としています。

